

製品名: CD6 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08425**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,ELISA |
| 反応性 | ヒト、ラット、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---------------------------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000 |
| 分子量 | 73kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | CD6 |
| 別名 | CD6; T-cell differentiation antigen CD6; T12; TP120; CD antigen CD6 |
| 遺伝子 ID | 923.0 |
| SwissProt ID | P30203 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト CD6 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 250-299 |

背景

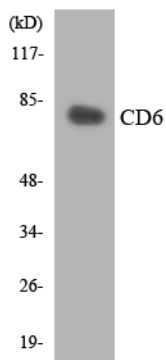
この遺伝子は、Tリンパ球および他の免疫細胞の外膜に存在するタンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は、3つのスカベンジャー受容体システインリッチ（SRCR）ドメインと、活性化白血球細胞接着分子の結合部位を含んでいます。この遺伝

子産物は T 細胞活性化の持続に重要です。この遺伝子は、多発性硬化症の感受性と関連している可能性があります (PMID: 19525953、21849685)。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2011 年 12 月]、機能: 細胞接着に関与。CD166 に結合します。、PTM:T 細胞が活性化されると、Ser および Thr 残基が過剰リン酸化され、Tyr 残基がリン酸化されます。、PTM:鎖内ジスルフィド結合が含まれます。、類似性:3 つの SRCR ドメインが含まれます。、組織特異性:胸腺細胞、成熟 T 細胞、B-1 細胞として知られる B 細胞のサブセット、および脳内の一部の細胞によって発現されます。、

研究分野

細胞接着分子 (CAM)

画像データ



CD6 抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウエスタンブロット分析。